

授業科目名	生理学Ⅱ(実習)	担当教員	准教授 桑子賢一郎 (他 日程表に記載)
開講年次・学期	2年後期	必修/選択	必修
開講形態	実習	時間数/単位数	14時間
<b>授業概要</b>			
<p>生理学は生体機能の特性やその制御機構の解明を目指す学問と位置づけられる。分子・細胞・生体レベルにわたる包括的な知識を得ることにより、臨床医学の基礎である正常生理機能の理解を深める。</p> <p>生理学Ⅱ実習では、カエル標本を用いた神経活動と骨格筋収縮の観察およびヒトの心電図測定を行う。さらに、得られた実験結果についての発表・討論を行う。</p>			
<b>GIO(一般目標)</b>			
ヒトおよび動物を対象として細胞レベル、組織レベル、個体レベルでの解析を行うことで生理システムを理解し、考察する力を養う。			
<b>SBO(行動目標)</b>			
<p>(1)活動電位の発生と伝導を説明できる。</p> <p>(2)骨格筋の制御機構を説明できる。</p> <p>(3)心電図の測定法としくみを説明できる。</p> <p>(4)実験結果についての科学的考察ができる。</p>			
<b>成績評価の方法</b>			
実習レポートおよび討論会で評価し、60点以上(100点満点換算)を合格とする。原則として、欠席は認めない。			
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>			
<b>【参考図書】</b>			
小澤瀨司・福田康一郎 監修	標準生理学(第9版)	2019	医学書院
金澤一郎、宮下保司監修	カandel神経科学	2014	メディカル・サイエンス・インターナショナル
大地陸男著	生理学テキスト(第8版)	2017	文光堂
倉智嘉久著	心筋細胞イオンチャネル	2000	文光堂(絶版)
日本生理学会教育委員会 監修	新訂・生理学実習書	2013	南江堂
Squire et al.:	Fundamental Neuroscience (4th ed)	2012	Academic Press
Katz:	Physiology of the Heart (5th ed)	2010	Lippincott Williams & Wilkins
Brodal:	The Central Nervous System (5th ed)	2016	Oxford University Press
Kandel et al.:	Principles of Neural Science (6th ed)	2021	McGraw-Hill Education
Koeppen & Stanton:	Berne & Levy Physiology, 7e	2017	Elsevier
<b>コア・カリとの関連</b>			
C-2	個体の構成と機能		
D-2	神経系		
D-5	循環器系		
<b>準備学修に必要な学修の時間</b>			
各講義の中で指示します。			